

音の呼び方

楽典和声講座 #02 ～ 日独伊三国音名

今回扱う内容は……

1. イタリア音名 ～ ド・レ・ミ・……
2. 日本音名 ～ ハ・ニ・ホ・……
3. ドイツ音名 ～ C・D・E・……
4. 音域の表し方 ～ low・mid1・mid2・hi

1. イタリア音名 ～ド・レ・ミ……

楽典和声講座 #02 音の呼び方 ～ 日独伊三国音名

ドレミの由来

- 「ドレミファソラシド」はイタリア語
 - ✓ これを「イタリア音名」という
- 語源は『聖ヨハネ賛歌』の歌詞(ラテン語)
 - ✓ この曲では、各節の最初の音がちょうど音階に対応
 - ✓ 各節の頭をとって「Ut Re Mi Fa Sol La Si」を音名とした
 - ✓ その後、発音の難しい「Ut」が「Do」に置き換わった

英語版「ドレミの歌」

➤ 英語の「ドレミの歌」は「ドレミファソラティド」

✓ 歌詞は次の通り

Doe, a deer, a female deer
Ray, a drop of golden sun
Me, a name, I call myself
Far, a long, long way to run
Sew, a needle pulling thread
La, a note to follow So
Tea, a drink with jam and bread
That will lead us back to Do!

Doe は鹿、メスの鹿
Ray は金色の太陽光
Me は自分と呼ぶ名前
Far は長い長い道
Sew は糸を引く針
La はソの次の音
Tea はジャムとパンに合う飲み物
さあもう一度ドに戻りましょう



[元動画はこちら\(01:00頃～\)](#)

トニック・ソルファ法

➤ John Curwen (英) が確立した音楽教育法

✓ ハンドサインもこれが由来

➤ この教育法では、音階を「ドレミファソラ**ティド**」と呼ぶ

✓ # は母音を i に、b は o にして表す (a にする場合もある)

✓ ファ b (=ミ) などは存在しない

✓ 使用頻度の低いソ b も存在しない

✓ 声楽では、移動ド (→ 第5回) の表現に用いる

#	di	ri	-	fi	si	li	-
♯	do	re	mi	fa	so	la	ti
b	-	ro	mo	-	(fi)	lo	to

2. 日本音名 ～ハ・ニ・ホ……

楽典和声講座 #02 音の呼び方 ～ 日独伊三国音名

日本音名

➤ 日本独自の音の呼び方

✓ ドレミファソラシド = ハニホヘトイロハ

◆ 「イロハニホヘト」を、ラから順に割り当てたもの

✓ # = 嬰(えい)、♭ = 変(へん)

◆ 例えば、シ♭ = 変ロ、ファ# = 嬰ヘ

✓ ふつう、調の名前(→第5回)に使う

◆ 例えば、ハ長調・ロ短調

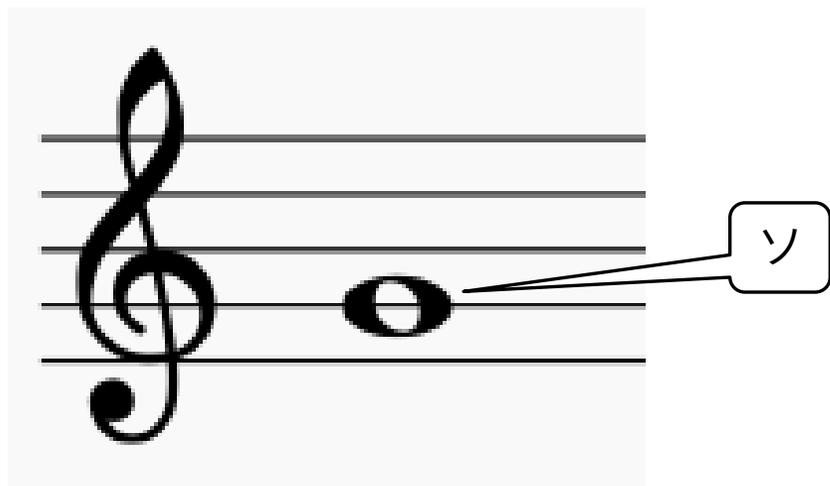
◆ ただし、声楽ではドイツ音名(後述)を用いることが多い

伊	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ

音部記号の名前の由来

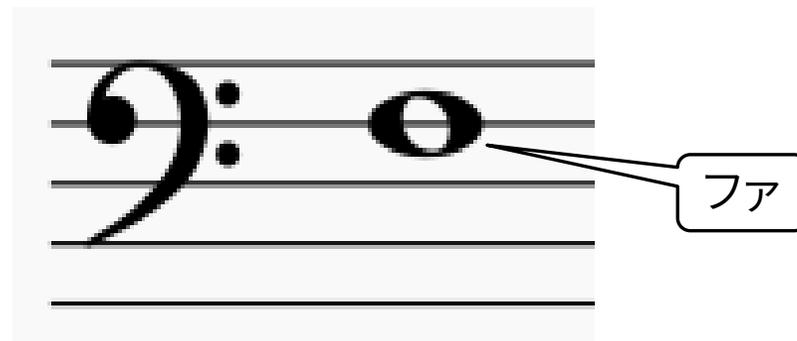
ト音記号

うずまきの中心がト(=ソ)に当たる。

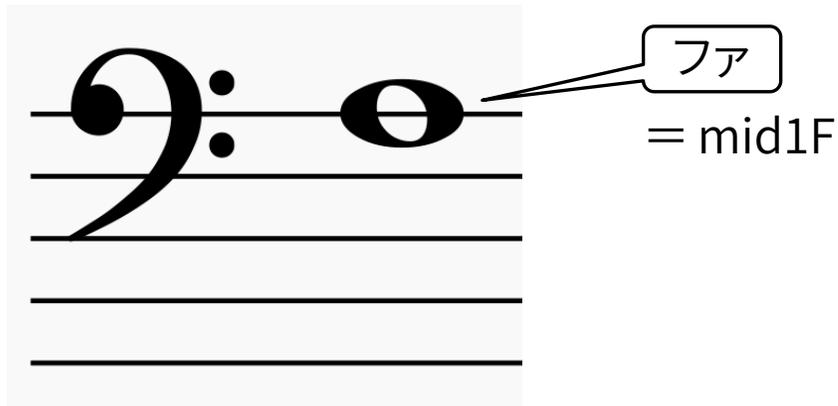


ヘ音記号

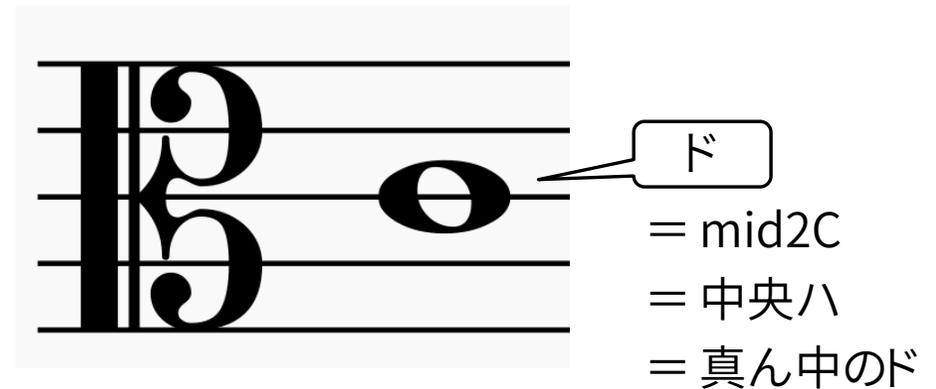
二つの●の間の線がヘ(=ファ)に当たる。



〔発展〕 その他の音部記号



へ音記号を用いた低バス記号



ハ音記号(を用いたアルト記号)

「へ音記号はへ音の位置を示す」などの意味は、声楽やピアノではもはや形骸化していますが、昔は音部記号を上下に動かして使うこともありました。

また、器楽では「ハ音記号」を今も用います。これも上下に動かして使います。「Hora est」の楽譜の最初には、パートを示す意味でこの記号が描かれています。

3.ドイツ音名 ~ C・D・E.....

楽典和声講座 #02 音の呼び方 ~ 日独伊三国音名

ドイツ音名

伊	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
独	C	D	E	F	G	A	H
読み	ツェー	デー	エー	エフ	ゲー	アー	ハー

- 声楽で最もよく使う音の呼び方
 - ✓ ドレミファソラシド = CDEFGAHC
 - ◆ ラから順に割り当てたものだが、シはHである
 - ✓ 声楽では**固定ド**(→第5回)の表現に使う

ドイツ音名の#・b

読み	チス	デイス	エイス	フィス	ギス	アイス	ヒス
#	Cis	Dis	Eis	Fis	Gis	Ais	His
読み	ツェー	デー	エー	エフ	ゲー	アー	ハー
♯	C	D	E	F	G	A	H
読み	ツェス	デス	エス	フェス	ゲス	アス	ベー
b	Ces	Des	Es	Fes	Ges	As	B

➤ #には is、bには es をつける

✓ 例外1: Ees → Es ・ Aes → As (発音しづらいため)

✓ 例外2: Hes → B

di	ド#	ri	レ#	-	ミ#	fi	ファ#	si	ソ#	li	ラ#	-	シ#
嬰ハ	Cis	嬰二	Dis	嬰ホ	Eis	嬰ヘ	Fis	嬰ト	Gis	嬰イ	Ais	嬰口	His
↑半音上		↑半音上		↑半音上		↑半音上		↑半音上		↑半音上		↑半音上	
do	ド	re	レ	mi	ミ	fa	ファ	so	ソ	la	ラ	ti	シ
ハ	C	二	D	ホ	E	ヘ	F	ト	G	イ	A	口	H
↓半音下		↓半音下		↓半音下		↓半音下		↓半音下		↓半音下		↓半音下	
-	ドb	ro	レb	mo	ミb	-	ファb	(fi)	ソb	lo	ラb	to	シb
変ハ	Ces	変二	Des	変ホ	Es	変ヘ	Fes	変ト	Ges	変イ	As	変口	B

日独伊 音名対応表

わからなくなった時には、これを見て考えてみよう。

トニック・ソルファ法 (移動ド)	イタリア音名 (普通の音名)
日本音名 (調の名前など)	ドイツ音名 (固定ド)

〔発展〕 アメリカ音名

伊	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
読み	シー	ディー	イー	エフ	ジー	エー	ビー
米	C	D	E	F	G	A	B

ここで紹介しなかった音名にアメリカ音名があります。これはコードネームの表現に用いられる、音楽一般ではドイツ音名よりもメジャーな音名です。

しかし、声楽では慣習的にドイツ音名を用いるため、B(ビー)とB(ベー)やA(エー)とE(エー)などの紛らわしさを回避するためにアメリカ音名は使われない傾向にあります。

4.音域の表し方 ~ low・mid・hi

楽典和声講座 #02 音の呼び方 ~ 日独伊三国音名

「高いラ」の音って？

同じに見えるが
実際は違う音

「オクターブ下で
演奏せよ」の意味

女声の「高いラ」

テノールの「高いラ」

これらの音はどちらも「ラ」です。それも「高いラ」の音ですね。

音符の位置はどちらも同じですが、実はテノールのほうが1オクターブ低い音域で演奏しているため、これらの音は実際は**違う高さ**の音です。「高い」と言ってもいろいろあるのですね。

low・mid・hi

➤ 音域の呼び方

✓ 1オクターブごとに、次のような語をドイツ音名の前につける

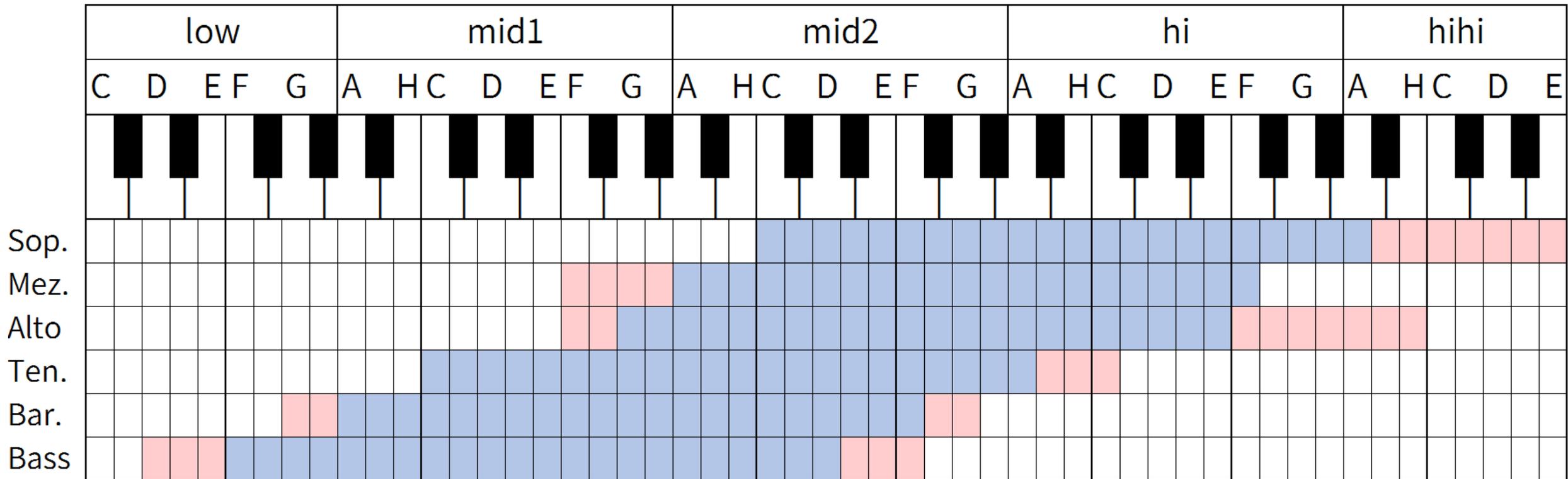
◆ 低い方から、low(ロー)・mid1(ミドワン)・mid2(ミドツー)・hi(ハイ)・hihi(ハイハイ)

◆ 例えば、テノールにとって高いラはhiA、女声にとって高いラはhihiA

また、ベースにとって低いファはlowF

✓ 名前が切り替わるのはAから

◆ 例えば、lowGの全音上の音はmid1A



ピアノ鍵盤・パート音域との対応

パート音域はWikipediaを参考にした概ねのものであり、青が歌唱に使用する範囲、赤が発しうる範囲とされていますが、楽曲によりこれを逸脱することは多々あります。なお、Mez.=メゾソプラノ、Bar.=バリトンです。

女声 → mid1
テノール → low

女声 → mid2
テノール → mid1

女声 → hi
テノール → mid2

女声 → hihi
テノール → hi

G A H C D E F G A H C D E F G A H

ト音記号の場合

便宜上、女声とテノールの音域を併記しています。テノールは女声よりオクターブ低く演奏しています。

low mid1 mid2

D E F G A B C D E F G A B C D E F

へ音記号の場合

へ音記号はバス・テノールともにこの音域になります。

G A H C D E F G A H C D E F G A H

low mid1 mid2 hi hihi

D E F G A H C E D F G A H C D E F

大譜表では……

このト音記号は女声のト音記号であり、テノールのものではありません。

今回扱った内容

1. イタリア音名 ～ ド・レ・ミ・……
2. 日本音名 ～ ハ・ニ・ホ・……
3. ドイツ音名 ～ C・D・E・……
4. 音域の表し方 ～ low・mid1・mid2・hi

Next : #3 音階(スケール) ～ スケールが変わると雰囲気が変わる